

第1学年 国語科 学習指導案

日 時 平成28年 9月21日 (水)
学 級 1年A組 男子9名 女子9名 計18名
授業者 教諭 黒淵 大介
場 所 1年A組教室

1 教材名 文章と図表を関連させて考えよう 「スズメは本当に減っているか」

2 単元について

(1) 教材(題材)観

本単元は、第1学年で2回目の説明的文章である。指導事項は、中学校学習指導要領〔C読むこと〕領域のイ「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること」、エ「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと」である。本教材は、筆者が4つの表と図に表現された3つのデータをもとに、科学的な視点と姿勢に徹して「スズメは本当に減っているか」の検証を進めている。検証の展開がそのまま文章の展開となっている特徴的な文章で、読み手は、事実と考えを読み分けてその関係を捉えていくことを通して、科学的な思考の一つのモデルにふれることができる。また、図表を手がかりに思考・判断して自分の考えを持つことは、他教科の学習においても必要とされる能力であり、その点からも有意義な学習になる。

(2) 生徒観

説明的文章の学習では、1学期に「オオカミを見る目」で「段落の役割や段落どうしの関係に着目して、文章の構成を捉える学習」を行った。意欲的に文章を読もうとするが、筆者の主張に対して根拠をもとに説明したり、事実として書いてある文章と筆者の意見を捉えたりすることが十分ではなかった。4月に行われたNRTの結果では、4項目全てにおいて全国比を上回っている。特に、「伝統的な言語文化と国語の特質」では111と高い数値である。話すこと聞くことの数値が「103」であるので、積極的に話し合ったり、意見を述べたりする活動を取り入れたい。学習の取りかかりに差があるが、協力して取り組もうとする雰囲気もあるので、グループの話し合い活動などで協力させ、授業に関わるようにさせたい。与えられた課題をこなす受け身の学習だけではなく、様々な視点から自分の立場を明確にし、考えに対する根拠をしっかりと説明できるような学習が必要だと考えられる。

(3) 指導観

本単元では、文章と図表を照らし合わせながら事実と考えを区別し、展開を捉えるとともに、図表の特徴や効果も説明できるようにしたい。そのために、言語活動例イの「文章と図表などの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと」を位置づける。本単元は、検証のあり方にたいする考察、そこに表れている筆者のものの見方・考え方の把握や吟味など、多様な視点から学びを深めることができる題材である。そこで、本学習では、展開部分を読む前に、図表から読み取れることを考えさせたい。3つのデータから考察されることを、「スズメは本当に減っているといえるのか」という観点で話し合うことで、筆者と同じ思考過程をたどることができると考えられる。そして、本文を読むことで、筆者のものの見方や考え方について、主体的な感想や考えをもつことができる。グループでの話し合い活動や、図表をもとに考えられることの説明を通して、能動的な学習をさせたい。

3 校内研究との関わり

研究主題

「自ら学び、考え、表現できる生徒の育成」
～言語活動を工夫した授業づくりを通して～

1. 学習意欲の向上

国語科では、目指す生徒像として「自らの考えを深め、表現できる生徒の育成～基礎的事項の定着と言語活動の工夫を通して～」と設定した。生徒の意欲を喚起するため、本文を提示せず、図や表から読み取れる事実や結論を考えさせたい。(西中学校区研究の視点1)

2. 言語活動の工夫

話し合い活動や他の生徒の発言を聞くことから、自らの読み取りをさらに深め、表現できる生徒の育成を図りたい。また、グループでの話し合いを通して、様々な考えに触れ、自らの思考を深めさせたい。共に課題を追求することで、文章の表現や使われている言葉の意味に気づかせたい。

(西中学校区研究の視点2)

4 単元の目標

- ・科学的な文章を読んで、自分の感想や考え、疑問などを発表する学習に関心を持ち、意欲的に文章を読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- ・事実と筆者の考えとを読み分けながら、文章の展開を捉える。 【読むこと イ】
- ・文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ。 【読むこと エ】
- ・接続語や指示語に注意して、その働きを捉える。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

5 指導計画

時数	主たる学習活動	観点別の評価規準	評価方法
1	序論を読んで、作者が提起する問題を知る。	・科学的な文章を読み、学習課題をつかもうとしている。 【関心・意欲・態度】	ワークシート 発表
2	「スズメの謎」についてグループでまとめる。	・スズメについての作者の考えを読み取っている。 【読むこと】	ワークシート 発表
3 (本時)	3つのデータから、スズメが本当に減っているか検討し、発表する。	・図表から読み取れる筆者の意見を、根拠をもとにしながら考え、交流しようとしている。【関心・意欲・態度】 ・図表から考察できる筆者の考えを、根拠を明確にしながら読み取っている。 【読むこと】	ワークシート 学習活動 発表
4 ・ 5	本文を読み、作者の論の進め方についての意見を持つ。	・文章の内容を踏まえて、自分の感想や考えを述べている。【読むこと】	ワークシート 発表

6 本時の指導

(1) 目標

- ・示された図表から自分の考えを持ち、筆者の結論を意欲的に考えようとしている。
【関心・意欲・態度】
- ・図表から導き出される、筆者の意見を考えることができる。 【読むこと イ】

(2) 具体の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力
図表から読み取れる筆者の意見を、根拠をもとにしながら考え、交流しようとしている。	図表から考察できる筆者の考えを、根拠を明確にしながら読み取っている。

(3) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	◇評価・留意点など
導入 5分	2分前学習 1 前時の想起 2 学習課題の確認 課題設定	1 前時のまとめを発表する。 2 課題を視写し、斉読する。	・(TV) ・3種類のデータを示し、生徒の言葉から課題を設定する 研究視点1
3種類のデータから、スズメは本当に減っているか考え、発表しよう。			
展開 35分	3 それぞれの図表から考えられることと、不十分であることを話し合う。 4 グループで話し合ったことを交流する。 5 3種類のデータから導き出される結論をまとめ、文章で表現する。 6 グループで発表する。	3 それぞれの図表について、3人のグループで話し合う。 個別活動→グループ活動 ※エキスパート活動 4 グループで話し合ったことを3人のグループになって交流する。 ※ジグソー活動 5 3種類のデータを通して、どんな結論が導き出されるか話し合い、2文でまとめる。 6 教材文では示されていない2つの記録も渡し、さらに考えを深める。	・自分の観点を明確にさせ、話し合いに参加させる。 ・グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか様子を見て歩き、必要に応じて声をかけたり、支援したりする。 ◇図表から読み取れる筆者の意見を、根拠をもとにしながら考え、交流しようとしている。 研究視点2 ◇図表から読み取った根拠を明確にしながら発表できているか。
終末 10分	7 学習を振り返る。 振り返り 8 次時の学習の見通しを持つ。	7 作者のメッセージについて自分の考えを持ち、発表を通して考えを広げたり、深めたりできたかを振り返る。	・振り返る観点を示して書かせる。

(4) 本時の展開

スズメは減っていると
なぜなら
(3種類のデータでは、
具体的な数字が減っているからだ。)

まとめ

図 3

○スズメの繁殖が減っている。
△データがわかりにくい。最近のデータがない。

図 2

○スズメの被害面積が減っている。
△スズメの数と関係ないのでは。

表 図 1 1

○この場所ではスズメは減っている。
長期的な調査である。
△全国的なデータではない。

3種類のデータから、スズメは本当に減っているか考え、発表しよう。